

## ●「株式会社共勝丸」への支援

当社は、東京と小笠原村を結ぶ小笠原航路貨物船を所有・運航し、東日本大震災で石巻市の本社および所有不動産等において甚大な被害を受けるなかでも休むことなく運航しながら、再建・復興に取り組んでいました。そのようななか、当社の再建状況と小笠原航路貨物船の老朽化により、航路存続が危ぶまれたことから、小笠原村から直接、当行に当社支援の要請がなされました。

当行は、小笠原村の運賃引上げ等の協力を加味した当社事業計画をベースに、当社の事業内容・成長可能性を検証するとともに、政府系金融機関に協力を呼びかけファイナンス面で支援を行うなど、事業性評価を通じた支援を行っております。

【東日本大震災からの復興、事業性評価を通じた地元海運業者への支援】

### 小笠原村

東京から約1,000 km 人口約3,000人  
航空路なく海路のみ

- ・小笠原村の生活物資・建設資材・燃料等インフラを支える航路存続
- ・船舶老朽化（修繕頻度が高くなった）につき、新造船建造を要望

新造船建造の必要性を  
七十七銀行に直接説明

## 七十七銀行

### 事業性評価の実施

- 東日本大震災からの復興状況確認
- 小笠原村の現状・総合戦略を検討
  - ・若年層の移住・定住により人口横ばい
  - ・村営住宅建替等資材搬入・産廃搬出継続
  - ・観光客増加（宿泊施設二重増加）等
- 運賃・修繕費等の変動を加味した収支検証・アドバイスの実施（コンサルティング能力の発揮）

事業内容・成長可能性を評価

協調  
呼掛け

## 株式会社共勝丸

（宮城県石巻市）

- ・東京と小笠原諸島の父島・母島を結ぶ貨物船の所有・運航
- ・石巻で不動産賃貸業も営む



<東日本大震災で被災>  
・人的被害・本社全壊  
・石巻の賃貸物件被災

被災後も小笠原村への  
貨物船は休まず運航

- ・課題共有
- ・事業計画
- ・資金相談

融資

日本政策金融公庫

商工中金

### 新造船建設・運航事業の維持

- 株式会社共勝丸の業績向上・安定収益確保
- 石巻市の産業、雇用等の維持



2019年1月15日  
小笠原村から村民の生活の安定  
および向上に貢献したことにより  
感謝状を授与されました。

写真出所：当社提供